



# サイジャーナル

月刊  
26-7・8  
第416号

日本サイ科学会 平成 26 年 7 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会  
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

<b>東 北</b> 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908 FAX 022 (274) 0097	<b>中 部</b> 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192	<b>北 陸</b> 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	<b>関 西</b> 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425	<b>九 州</b> 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫
--	--	--	--	--

## 七月本部例会のお知らせ

### ラップ現象の究明

ラップ音との関連性について

講師 小林 信正氏  
(特異能力研究所代表  
日本サイ科学会理事)

何も存在しないと思われる空間から、物を叩く音が発生する現象をラップ音 (rap 叩音) と呼び、昔から霊魂が出現するときの音で心霊現象の一つだといわれてきました。また海外ではポルターガイスト現象だという説もあります。しかし、未だにその音の発生原因は不明であり、正体は定かではありません。

ラップ音にはさまざまな種類があり、割り箸が折れるような音、ハンマーで物体を叩いているような音、ドアをノックする音、足音など多岐にわたっています。

日々、これらラップ音に怯えるさまざまな住人達の訴えにより、テレビ番組の制作を兼ねて、現場に特殊な撮影機器及び物理的測定機器を準備して調査、徹底観測、

撮影を敢行しました。

想定される原因の仮説としては、①人工電磁波説、②ウォーターハンマー現象説、③建築建材工法説、④低周波による振動、共鳴説、⑤ポルターガイスト現象説、⑥オーブによる心霊現象説、等々。建築家や音響専門家たちに現場の立ち会いを依頼し、家屋の構造調査や建材等の音響実験、音源の分析等による検証を試行しました。さらに住人の心理状態の意識調査も行いました。

検証の結果、ラップ音の発生にはオーブが介在して霊的な可能性が大であり、しかもオーブが何らかの意思をもっているように考えられます。

百聞は一見に如かず、ラップ現象が頻発しているいくつかの現場の実態をビデオで収録しましたので、その映像をご覧いただきながら、考察を加えたいと思います。また、土地には良し悪しがあり、住居には避けたい土地に関するもお話しできればと思います。

※長年東京キー局のチーフプロデューサーとして、心霊現象や能力者に関して科学的検証も含めた多

## 今月号の記事

- ◎ 七月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 第22回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 第24回全国大会研究発表募集
- ◎ 関西サイ科学会 七月、九月研究集会予告
- ◎ 九州サイ科学会 七月、九月研究集会予告
- ◎ 中部サイ科学会九月例会予告
- ◎ 新役員のご挨拶  
名誉会長 佐々木 茂美  
会長 浪平 博人  
理事長 久保田 昌治  
副理事長 小林 信正  
中部日本サイ科学会会長 眞野 博英  
九州日本サイ科学会会長 森安 政仁
- ◎ 平成25年五月本部例会報告
- ◎ 第三八六回関西サイ科学会報告
- ◎ 第三八七回関西サイ科学会報告
- ◎ 本部例会ビデオ映像の販売
- ◎ 関英男先生関連書籍の販売
- ◎ オーブ出現に及ぼすカメラと光と水滴の影響
- ◎ 科学と再現性 そしてサイエネルギー

くの番組を制作してこられた講師なので、興味深いお話が沢山紹介されると思います。会員の皆様はご友人・知人をお誘いしてご参加願います。

### ●小林信正氏のプロフィール

1938年2月、東京生まれ。東京写真大(現東京工芸大)卒業、慶応大で哲学、心理学を専攻。

TV局勤務、チーフプロデューサー、部長として多数の番組制作に永年携わる。定年退社後、TV制作会社の代表取締役として多数の放送番組やイベントなどを制作。大学や企業研修の講師なども務め、特異能力研究会を主宰して意識とサイの研究を行っています。  
 ◆ 新著に神社仏閣50選「ご利益さま」縁結び編。

日時 平成26年7月12日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室  
 交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル  
 会費 会員二千円 一般三千円  
 学生 一千円

※8月の本部例会はお休みです。

※9月本部例会の講師は、現在交渉中です。決定しましたら、7月の本部例会終了後、公式サイトに掲載しますので、チェック願います。

「心を科学する博物館」と  
 一般の御寄付御礼  
 (6/8受領分まで)

◆ ◆  
 金二万二千円也 森安 政仁 様  
 金三千三百円也 吉田 一美 様  
 金一千円也 飯見 勇 様  
 金一千円也 占部 浩一 様  
 金一千円也 赤松 洋一 様

### 第22回宇宙生命研究分科会予告

◆ ◆  
 第8回 UFO・ORBシン  
 ポジウム

テーマ 第2コペルニクス革命

「地球人一人ぼっち説」から  
 「宇宙人てんこ盛り説」へ

◆ ◆  
 コペルニクス革命は天動説から地動説への転換にあった!

現在進行形の第2コペルニクス革命とは「地球人一人ぼっち説」から「宇宙人てんこ盛り説」への転換である。ハッブル宇宙望遠鏡、ケプラー宇宙望遠鏡等の発見の数々はこの宇宙にはたくさん銀河があり、たくさん地球型惑星が存在することを示しているのだ。ジョルダノ・ブルーノの復権!? 最新のUFO・オーブ情報を紹介し、さて、第2コペルニクス革命を論じましょうか!?

日時 平成26年7月21日(月)

10時～17時30分

会場 品川健康センター会議室  
 品川区北品川3・11・22

交通 03・5782・8507  
 京浜急行新馬場駅徒歩2分

◆ ◆  
 「新馬場駅前」下車  
 JR京浜東北線大井町駅東口から東急バス渋谷駅行で

◆ ◆  
 一般会費 一〇〇〇円  
 会員会費 五〇〇円(日本サイ科学会・サトルエネルギー学会・太陽の会会員)

(世話人 阿久津 淳)

### 平成26年日本サイ科学会 第24回全国大会発表募集

◆ ◆  
 毎年重要な行事である全国大会が、今年も10月12日(日)に北とびあにて、開催されます。会員の研究発表+シンポジウム(テーマは「サイと天変地異」)が予定されておりますが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

◆ ◆  
 会員の研究発表では、テーマは天変地異に関してなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・解明、様々なサイ現象の仮説(理論など「サイ」に関連することなら何でも結構ですので、ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

◆ ◆  
 研究発表の予稿集原稿は、後日今年度の論文集「サイ科学」にも掲載されます。

◆ ◆  
 7月末までにタイトルと簡単な内容(200字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りい

ただき、一応審査させていただいて、通りましたら8月31日までに原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

関西日本サイ科学会  
七月例会のお知らせ

放射能分解理論の発見と可能技術の数々

講師 高尾 征治氏

日時 平成26年7月19日(土)  
午後1時半～5時  
会場 大阪科学技術センター  
七〇一号室  
交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車  
北へ徒歩5分 韮公園内  
会費 会員 二〇〇〇円  
一般 三〇〇〇円  
学生 一〇〇〇円  
問合せ0797・22・6425  
関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会  
九月例会のお知らせ

セドナメソッド「人生を変え  
る一番シンプルな方法」

講師 安藤 理(おさむ)氏

日時 平成26年9月20日(土)  
午後1時半～5時  
会場 大阪科学技術センター  
六〇五号室  
交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車  
北へ徒歩5分 韮公園内  
会費 会員 二〇〇〇円  
一般 三〇〇〇円  
学生 一〇〇〇円  
問合せ0797・22・6425  
関西日本サイ科学会事務局まで

九州日本サイ科学会  
七月研究集会のお知らせ

生霊について

講師 森安 政仁氏

日時 平成26年7月6日(日)  
午後1時～4時  
会場 森安商店  
長崎県西彼杵郡長与町本川内166  
問合せ095・883・6048

交通 JR長与駅下車徒歩20分  
長崎バス 洗切小学校前  
下車徒歩2分  
会費 無料  
※人生相談も伺います  
※会員以外の方の参加も大歓迎

九州日本サイ科学会  
九月研究集会のお知らせ

心の調和について

講師 森安 政仁氏

日時 平成26年9月7日(日)  
午後1時～4時  
会場 森安商店  
長崎県西彼杵郡長与町本川内166  
問合せ095・883・6048  
交通 JR長与駅下車徒歩20分  
長崎バス 洗切小学校前  
下車徒歩2分

会費 無料  
※人生相談も伺います  
※会員以外の方の参加も大歓迎

中部日本サイ科学会  
九月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成26年9月20日(土)  
午後1時半～5時  
会場 眞野接骨院ホール  
名古屋市昭和区御器所3・4・21  
052・871・9060  
交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車  
3番出口から徒歩1分  
会費 無料  
※会員以外の方の参加も大歓迎

☆新役員のご挨拶

六月八日の通常総会において、平成26年からの新役員が承認されましたのでご挨拶を掲載致します。

## 会長退任のご挨拶

新日本サイ科学会名誉会長

佐々木 茂美



皆様のご指導とご協力によりまして、長い間会長職を勤めさせていただきました。どうも有り難うございます。年齢を重ねて現在84才、あたまの回転もおそくなり、少々ぼけてきて、迷惑をお掛けする事が多くなりました。

皆様方もご存じのとおり、サイ科学会も危機的な状態を脱して、やっと、隆盛の機運が巡ってききました。会員数も増えて来て、論文数もまし、有識者がよく連絡してくる様になってきました。そういう意味で、明るい兆しがでて来たと思うのです。

この際、会長を交代して、マンネリを打破して、新しい方向に進歩しなければならぬ、と思いません。

私の希望として、日本サイ科学会として、定款を変えないで欲しい、と言う事があります。宜敷く、御願いたします。

☆ ☆

新日本サイ科学会会長

浪平 博人



このたび会長の任を承ることになりました浪平博人です。初代の関英男先生およびそれを継ぐ佐々木茂美先生という大変立派な会長を戴いて、サイ科学会は「心と心」ならびに「心と物」の間の相互作用は確かにあるという立場に立つて、

これができるだけ科学的に解明することに努力してまいりました。

当初の茫漠としていたこの分野は、その全貌が整理されさらに俯瞰的に体系化されました。そして、科学的な方法論に沿って深く考究されて、論文という誰もが内容を確認できる形で記述されるに至り、当会は質を伴って発展しつつあります。これは、両会長の長年にわたる卓越したご指導の賜物であります。

サイ科学会を量の面から眺めますと、少し前の社会の不況のあおりを受けた会員数の減少傾向への対処に苦慮いたしました。一番苦しい時は過ぎわずかながら回復傾向にあります。次の発展の予兆として誠に喜ばしいことでもあります。

さて、人の歴史を振り返りますと、これですべてわかったとされる時代は後世からみると結果として偏った停滞の時代でした。翻って今日を眺めると、いまは量であらわされないものは無視され、いわゆる科学万能とされております。その中であって我々は不思議なことを正面から欺かれぬ眼で見つめ健全な疑問を抱き、それを

解明しようとする者の集いであります。時代の先端を歩むものでありろうと確信する次第です。皆様のご協力を得て、会の発展に尽力する所存であります。

☆ ☆

新日本サイ科学会理事長

久保田 昌治



私は生来好奇心旺盛な方で、水を主要研究テーマにしていることもあり現在日本化学会を始め10前後の学会に加入しているがほとんどの学会で会員が減少している。かつ若い人の参加が少なく高齢化が進んでいる。当サイ科学会も最盛期といつか会員数が最も多かった時期に比べ半減している。この現象は出生率が低下してきている

ことだけでは説明できない。現に会員が増加している学会も数少ないがある。知る範囲では例えば日本医療・環境オゾン学会など。

学会の存在価値は会員数だけで云々は出来ないが現に会員数が増えているか減っているかは重要な意味を持つと考える。

このような会員が現に増えている学会を分析して見ると今の時代が喫緊に求めているものに答えられるはつきりしたものがあるということ。すなわち今の社会に夢を与える役立つものがあるということ。このような視点でサイ心理学を見直して見るとサイ心理学の守備範囲には今の社会であり時代が求めているものに答えられる可能性を持つものが幾つもある。

具体的にはいわゆる超常現象等の解明、今の科学的といわれる捜査手法では中々犯人に辿り着かない通り魔的事件の解決、病気の治療はもちろんのことこれから益々重要性が増す予防医学分野、さらに画期的な省エネ省資源技術などが上げられる。それにもかかわらず会員が減っているのは学会や学会活動が正しく評価されていないからではないか？ サイ心理学お

よび会員はもっと一般の人に活動内容を分かってもらうような努力が必要なのではないか？ このよ様な地道な活動・努力が会員増になると考える。

学会の使命としては真理の探究という重要な役割があるがそれと同時に実際の社会に役立つということが特に現在では重要になってきている。会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

☆ ☆

新日本サイ心理学会副理事長

小林 信正



「魂の究明と向上のために」

近年、私たちは合理的な科学的

思考の恩恵から便利さや快適で文明的生活を享受するようになりました。しかし他方では、原因不明の病氣、貧富の拡大、文化と精神の崩壊、凶悪犯罪、自殺など、さらには異常気象とか食品の有害化学物質や原発事故の放射線問題等々、一歩間違えば人類が危機に晒される深刻な問題が投げかけられています。

この物質文明と精神文明の溝を埋めるのは、心と心、心と物質をつなぐ命を重視した未知(PSI)現象を科学的に研究し、その成果を人類に貢献することが「日本サイ心理学会」に課せられた使命だと思います。

心霊現象に惹かれて約50年。私は現役時にテレビで「霊II恐怖」という図式の悪いイメージを世の中に流した事への後悔から、今その払拭における私自身の使命としても、世のため人のために微力ながら正しい知識を提供して人々のお役に立ちたいと思っています。

このたび、私は本学会にて「スピリチュアル研究分科会」を立ち上げます。

「靈魂II命、精神の源」であり、魂は生と死を何度も繰り返し、私

たちはいま再びこの世に生かされて、いま生きる意味とは何なのか？ その課題を解いていきたいと思っています。

スピリチュアルに関心がある有志と親睦を図りながら、お互いに学び合っていきませんか。魂の向上に目覚めるのは、今です！ 会員以外の方でも大歓迎です。お誘いの上、ぜひご参加ください。

☆ ☆

新中部日本サイ心理学会会長

眞野 博英



今般、荣誉ある「中部日本サイ心理学会」を担当させて頂くことになりました眞野博英でございます。

私のような者を推薦してくださいました前会長の山田哲三先生、

あたたいかい声をかけてくださいました小林泰樹事務局長、他、受け入れてくださいました、諸兄諸姉に感謝申し上げます。

私は還暦まで30年以上、接骨院を通して、医療に携わってききましたが、還暦の年に思いもよらず、厳しい状況に置かれました。その後66歳の今日まで、いろいろ状況を改善すべく努力しております。

これから山田会長の築いてこられた中部日本サイ科学会の活動を受け継いで、日本サイ科学会の一員として、参加者の皆様と共に明るい未来のために努力をさせて頂きます。よろしくお願い致します。

☆ ☆

新九州日本サイ科学会会長

森安 政仁



「九州会を受け継ぐにあたって」

この度、金子輝夫会長の後任として九州日本サイ科学会の会長を務めさせて頂くことになりました。長崎の森安政仁でございます。

心霊の世界に出会ったのは、40歳の時でした。これまでは正直、霊という何となく胡散臭さを感じていました。ところが、長崎在住の志岐先生(故人)という方が全国から電話で遠隔治療の無料奉仕をされていることを知り、折しも私は腰痛、肩こりなど身体の不調のため伺いました。ところが不思議にも身体が見事軽くなり、目に見えない力(サイ現象)の不思議な働きに驚嘆したのです。

以来、心霊の世界に目覚め、先生と共に研鑽を積み、4〜5年経ってから私も他人を癒すことができるようになり、今では実践活動と研究を兼ねて、全国から縁ある人々の無料奉仕に努めています。人々が素直な気持ちで、感謝、愛、奉仕といったものに目覚めると、心身に変化が生じることは事実です。中でも最も大切なことは、いま生かされている命の尊さに目覚め、先祖を敬い、父母に孝養を尽

くし、家庭では慈しみの心を育て、社会では人間関係の調和をはかる事だと思っています。

33年間学んだ目に見えない力について、さらに縁ある人々と共に学び合い、少しでも世の中に広めてお役に立ちたいと決心、九州会を引き受けた次第です。

よろしくご指導のほどお願いいたします。

### 平成25年5月本部例会報告

イメージによる瞬間教育

講師 浪平博人氏

ロザノフの暗示学習法「サジェストベディア」というのがありました。これは「暗示により心の束縛を取り、潜在能力を自由に使う方法で、主に語学の学習に適用され、一日一千語を覚えさせたという記録が残っております。日本では関英男先生が「加速学習法」として、東海大学で実施されておりました。

これは感性に重きを置く右脳教育とも関連するものであります。今回私がお話しするのは、論

理的な内容を対象にしておりまして、意味を瞬間的に伝達することをコンピュータを使って達成したものであります。

物事というのはなかなか伝えにくいのですが、伝言ゲームというのがあります。最初の一人からある内容を、例えば20人くらい順番に小さな声でひそひそと伝えるゲームですが、最初の人と最後の人ではその内容がとんでもなく違って、またそこに面白さを見いだすのですが。

つい最近のことですが、ある高校生が「うさぎ追いつかぬ山の歌詞を「うさぎ美味しかの山」とついで、「なせうさぎは美味しいのだろう?かの山とは何だろう?」と思つていたというのです。もっと面白いのは昔の話ですが、教育勅語の「夫婦相和し」を魚屋のお兄さんが「ふうふはいわし」とついで、天皇陛下は我々に「ずいぶん気を遣つておられるのだな、と思つたそうです。

要するに物事は「自分の理解できるように理解する」ということ

なので。だから知識の伝達においては客観性が大切だというので、形式的になり、手順に分解したり、抽象化したり、数式・記号を使用することになります。しかし意味が分からない、何のことを言っているのか分からないというのが、実際のところですよ。

特に論理的かつ複雑な事柄の伝達においては、対処法として「分割統治法」というものに基づいて、①全体をいくつかの部分に分割し、②部分を説明する。部分自体に高い理解を要求されるものは沢山あります。③部分を集めれば全体になる、という方法です。

しかし、部分を集めたものが全体だろうか？という疑問が出てきます。従って実感としては、生きた全体にはなりにくいのですね。

「分かるとは何か？」ということに対して、数学者の岡潔先生は「理解の内容には度合いがある」と述べられて、「形式的理解」と「情緒的理解」があると言われました。「形式的理解」というのは、手順として分かる、「情緒的理解」というのは、腑に落ちた、ということ、この両者は違うのです。

その上に「クオリア」というの

があります。「クオリア」とは震えるような感動、それを聞いただけでパーッと人生全部が変わるということが実際にあるわけです。



意味とは何か、というのを考えてみます。たとえ話とか都々逸はなぜ判りやすいのか。「百合のようなお嬢さん」「竹を割ったような男」この表現は日本人には判りますが、外人には判らないでしょう。「こぼれ松葉をあれ見やしゃんせ 枯れて落ちてても 二人連れ」

夫婦は仲良くしなければいかんぞという事です。これも日本人なら判ります。それは背景がよく判っているからです。我々は同一の空間を共有しているからです。外人には何のことか判らないのです。

意味とは自分の価値座標で測った値です。座標軸は各々異なるので、自分にとつての意味は人によって違います。だから、伝達においては、まず、意味を共有するところが大切になるわけです。その後、細部の手順を伝えます。そうすると、どの部分の詳細か関連が判るわけです。

ここで人の認識について、考えてみます。

見えるものは何か？一人一人のもつ価値観というようなものがあります。「見えるもの」とは、ある実体があつて、それをその人の価値平面で切り取る断面です。その断面は人によって変わるので、見えるものは変わるのですが、みな真実なのです。

従つて価値平面というのは、偏見の塊なのです。ここで面白いのは、偏見はそれを強めるように事実を解釈するのです。実はどのようにして、自分の疑り固まった見方を変えるのかということが、創造性そのものなのです。

現代の教育に目を転じますと、普遍性を重んじて、形式的になら

ざるを得ないのです。すなわち、形式智に偏るわけです。学校教育において、学ぶということは記憶することです。何でもいいから、この解法を覚えるということになるわけです。特に日本は根本を思索するという伝統が薄いから、独創的なものは出にくいのです。同形式の延長の改善は得意なのです。だから時代ががらつと変わり、形式が大幅に変わると、大損をするわけです。

科学の発祥を考えてみます。真理というものは、あるがままではなく、何か美しい原理があるはずだという信念をもつて捜すとき、見つかるのです。一神教としての神の存在を前提に、美しいものがあるはずだと考えます。合理性を仮定し、美しい原理を仮定し、○○とは何か？という姿勢があつて、科学というものが生まれるのです。

さて、意味の伝達の新しい工夫について考えてみます。多くの人々に伝えることでは、教育空間とでもいふべき、意味の共有というところがまずできなければなりません。

せん。多様な解釈軸があることを理解しなければなりません。従って発信方法に冗長性が必要になります。冗長度が高いものは何か？それは視覚です。なぜ高いか？窓の外に見た景色を、中の人に説明するとき言葉ではなかなか伝わりますが、写真ならパッと伝わってしまいます。

さらにIT技術がどんどん発展しています。考えてみれば、人間の認識の度合いというのは、その時代に使えるメディアに依存します。望遠鏡のない時代はどうだったか？それは目で見るしかないのですが、どんなに目のいい人でもある限度を超えることはできません。だから、天体は神の世界になり、確かめる術はなかったのです。ところがレンズが発明され、望遠鏡ができて、いろいろなことが判ってきました。太陽は黒点があり、フレアもあって、今までの認識とは違う、近い星、遠い星もあるし、無限の彼方にある星もあることを知り、初めて無限ということが認識できました。

あるいは、その後蒸気機関が発明され、人間の認識が変わってきて、自然というものは征服しうる

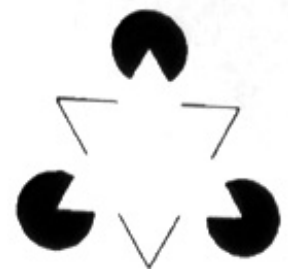
ものだという実感がわいてきました。そのように、人間の認識というものは、何が使えらるかによって決まるのです。

そして今はIT技術です。あれは化け物です。ところが、まだまだITの使い方というのは単純にしか使っていません。本質的に速さやメモリーというものしか使っていないくて、智慧を入れるということをやっておりません。だからそこに非常に大きなブレイクスルーがあるはずです。

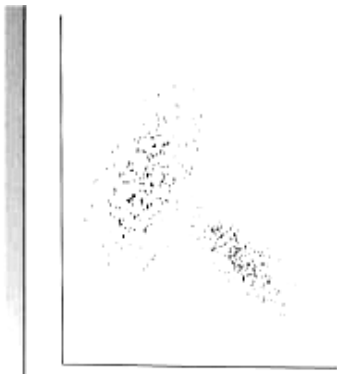
さて視覚の特徴について考えてみます。

量的特徴は、情報量が非常に大である。質的特徴は①異なったものの中に統一的なものを見る、統一的なものを見るときは、意味を見る、②図の中に、規則性、シンメトリ、簡単な要素を見る、③複雑さの中に単純さを見る、④変化に敏感、強度の二次導関数を感じする↓境界を察知する

下図は、「カニツツアの三角形」といって、マツハバンド・境界の一つの境界線があるように感じ、実際にはない境界を見ます。↓上向き三角形

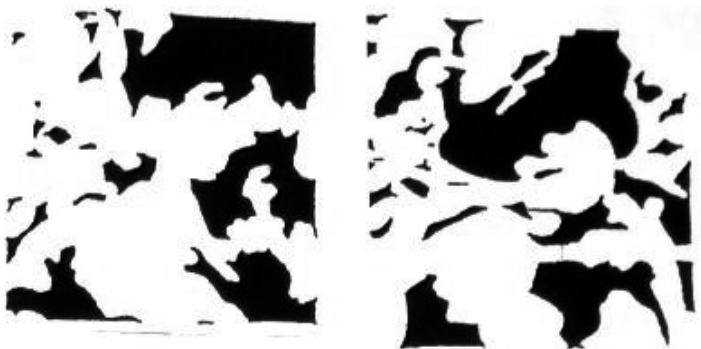


左図は多数の(x, yデータ…図の左側)が数値で与えられていて、それらの点を座標軸にプロットすると、2つの群に分かれるということが、パッと判ります。数値だけ見えていても、これらのグループは見えます。



縦軸  
横軸  
データ  
座標  
プロット  
分布  
形状  
三角形  
境界線  
マツハバンド

「目は意味を探す」一例として、左図の右側には帽子姿の「貴婦人の上半身」が見え、左側には髭をはやした「コサック騎兵の顔」が見えます。最初に見えなくても、一旦見えたら、それ以外には見えなくなります。



新しい教育方法論について考えてみます。

時間の順序に並んだいくつつかの



画像データを見ただけで、我々は因果関係をパッと取り出して、その意味をくみ取ることができません。それは我々の「悟性」というものがやるのですが、どのようにやるのかはよく判りません。これは本当は大変な能力です。

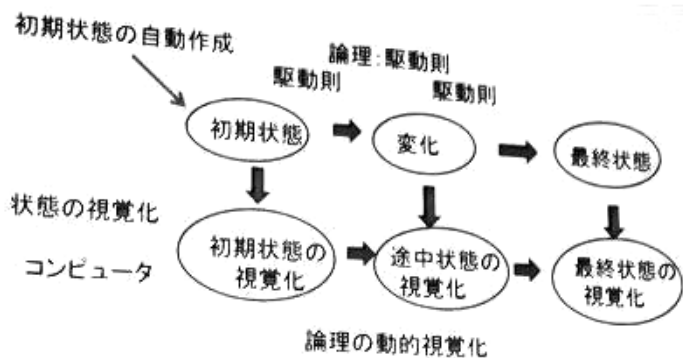
我々は意味の伝達を中心にした教育を作ろうとしています。それはまず悟性の活用をしよう、それは何かというと、論理の動的視覚化を行う、そのための電子黒板などを使うということです。

具体的方法論としては、目的・論理的内容の本質をイメージとして学ぶ者の生の感覚（クオリア）に直接伝達し、学生の感動を引き出す教育方法

方法：論理的内容の、コンピュータを使った動的な視覚化を行う（従来の視覚化は、結果の視覚化）

機能・意味の瞬間伝達（説明に先立って、概念の共有）と疑似経験（あの場合、この場合を自動的に発生）から、創造的發展に対応可能にする

論理とは何かというと、ある状



態があつて、その状態を変えるような駆動則が論理となります。初期状態から変化して、最終状態まで、論理をすべて視覚化することができますので、非常に面白いわけです。

Education (引き出す) の実現 身近な話題から入って、それらに対し「なぜ？」という疑問を問ひかけ、学生の興味を引き出し、

対話により「なぜ？」の問いを深化させ、適切に誘導することにより、解答を考えさせ、討議により一般的な理論の理解へ至らしめるような教育の工夫をしたい。これを、分野ごとに作り上げる

これにより何が変わるか？

不可能が可能となり、効率率が桁外れとなり、教育技術がソフトの中に組み込まれるので、伝承可能となります。すべて数理的な対象のイメージですので、タイトルをその国の言葉に翻訳すれば、ソフトはそのまま世界で使えます。

それでは今あるコンテンツをご紹介しましょう！

※この後、動的視覚化の多数の教材が紹介されましたが、お話の通り文字では表現できませんので、日本サイ科学会公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSI/> トップページにある「浪平博人氏 動画画集」のリンクから、YouTubeの動画を視聴願います。

第三百八十六回関西日本サイ科学会研究集会報告

今ガンを見直す

講師 土橋 重隆氏

とき 平成26年3月15日  
ところ 大阪科学技術センター

土橋重隆氏は外科医・医学博士 1952年和歌山県生まれ。1978年和歌山県立医科大学卒業。1981年西日本で最初の食道静脈瘤内視鏡的栓塞療法を手がけ、その後2000例の食道静脈瘤症例に内視鏡的治療を施行する。

1991年、和歌山県で最初の腹腔鏡下胆嚢摘出手術を行う。2000年、帯津三敬病院にて終末医療を経験、現在は三多摩医療生協・国分寺診療所で外来診療を行っている。ガンや生活習慣病には「治療の主役は医者ではなく患者さんと説き、全国各地で講演を展開。著書に『ガンを作る心 治す心』（主婦と生活社）『ガンを超える生き方』（徳間書店）『突き抜ける生き方』（あうん／藤原直哉氏との

共著)、『50歳を超えてガンにならない生き方』(講談社)、玄侑宗久氏と共著『生きる。死ぬ。』(デイスカバートウエンティワンなど多数。

なぜ病気になるのか?病気の本质とは何か、生きるとは何か。自分の体の変化に対応しようとして頑張っているのがガンである。自分を酷使した生き方を変えようと末期であっても治ってしまうことがある。治るものは少し後押しすれば治っていく。病気はその「意味と関係」を我々に伝えるために現れたもの。その役割とは……。

健康について考えたい

サイ科学会では生前の関先生に話を聞いており、サイ科学会とは長いつきあいである。

私は外科医で先端的な手術を専門に行っていた。今の医者は数値と画像がよりどころである。そういうやり方をしているうちに病気とは何か、治らない人はなぜかと疑問を持つようになった。

現在の医学はたまたま病気になるからその病気を排除するということなので、何故病気になるのか

という考え方はない。

私はこの問題を追究するため、統合医療を行っている関東の病院へ行った。しかしその病院でも病気は殆ど治らない。病気に苦しんでいる患者は「家庭の医学」などを読んで病院へくるのだが、結果は苦しんで死んでいく。今の病院では疑問を持ってはいけない。何故かと考えては駄目。

病院では診断され、病名がついたら対症療法が決まってしまう。つまり現代医学は、原因を取り除くということに興味を持っていない。

病気という起きた事実が問題であってその原因をまったく無視している。

実際は病気になっても治る人は治る。治らない人は治らない。ある患者の話。同居人との関係で潰瘍になった。やがて考え方が変わり、目の色が変わって元気になった。

抗がん剤は大きく分けて三つの使い方があり。ひとつは、手術する前に抗ガン剤を使って、小さく

してから取りましようというもの。次は、手術して取ったけれども、まだ残っているかもしれないから、画像も数値も問題ないけれど、予防的にやりましようというもの。三つ目が問題で、手術できない、手術しても再発してどうにもできないという患者さんに、抗ガン剤を使おうというもの。



医者は身内ではなく他人だから薬が出せる

国民保険は実は国民のためのものではない。国家資格とは厚労省の下請け、これは山分けシステムである。

「これが基本である」と厚労省が決めており、これしか出来ない。これ以外の方法を行うと医師の資

格をはく奪されることもある。このシステムでは平均値の治療しかできず、これでは病気は治らない。

本来病気は長生きするためにある。何事も長所半分である。つまり病気は視点を変えれば幸運をもたらすものである。今の医者は国民皆保険により治しているからそのような観点がない。実は病気は必然的になるのである。

例えば、おかしなものを食べて下痢という病気になりそして正常に戻る。

また風邪をひいて熱を出し、これにより正常になる。

病気に心当たりのある人ない人がいるが必ず原因がある。

乳ガンになった人の場合、医学的には病気(ガン)が見つかったところからスタートしており手術、放射線、抗がん剤と進んでいく。実際は治る人は治り、治らない人は治らないのだが。

関東の病院に行ったとき乳がんの患者があふれていた。情報にあふれており訳が分からなくなっていた。そのような患者たちから生活歴を聞いた。そうしているうち

にヒントが出てきた。それは右か左かということである。これで原因が見えてきた。

もちろん環境、食べ物にも原因がある。また胃がん、大腸がんの場合も原因がある。

乳がんの場合、右の乳がんの人は夫婦仲が悪いとか親との関係で心理的なストレスのある人が多い。一方左の乳がんの人は。人の依頼に従うタイプで親の介護などで肉体的に過剰な負担を抱えた人が多い。

これを避けるには生活を変えればよい。これまで、不自然な生活をしてきたことを認めればよい。病気になることは実はその人の病歴、生活史が問われているのである。

健康だけが大事なわけじゃない。病気をしながらさらに健康になっていく。一般的には、病気を敵対視して、それを克服する、闘病するといった形でとらえることが多いが、生命の視点で考えると、そこらも必要なものである。

ガンになる臓器とその人の性格や生き方は対応していることが多い。

胃ガンの人は、とにかく生真面

目である。私が診てきたのはガンの患者さんが中心であるが、胃、十二指腸を病む方というのは、何事も真面目で、言われたことに対して、平均以上に真面目に取り組む。それでバランスを崩してしまふ。肺ガンの人は、病気を怖れ、シヨックを受け、そのシヨックが免疫力を落として、ガタガタになりやすい。

インフルエンザについては予防接種はすすめられない。

マスコミ（NHK、新聞等）が言っていることにまどわされてはならない。

ガンになる人は真面目で常識的な人、皆と同じルールの人で社会的に結果を残した人に多い。

食事療法とか〇〇療法では治らない。療法ではなく自分の生活史の方を治すことである。お金のある人がそのような療法に拘るケースが多いが、そのうち療法にこだわって自分の金がなくなつて治す努力をやめたら治っていく。

病気は自分自身も周囲の人もよくする要素を持っている。ガンになることで学べる。ガンには力が

ある。家族が集まるとか。

ガンは自分の過去である。人は因果律で生きている。過去を断ち切れれば自由律である。ガンは（死をイメージさせるような病気は）生き方を変えなさいとのメッセージである。

病気は日常生活から発生する。非常識、非日常になるとガンである必然性がなくなる。

私は自在な自我を持つ医師になりたい。皆と同じでは天分を生かすとは言えない。

それぞれがこの時代に合う能力がある筈である。

薬は病状を抑えるだけのもので治すものではない。現在の医学は修理と管理をするだけであるが、これを治療と言っている。病気は必然で数字や画像には現れない意味と価値がある。早期診断、早期治療と言われるが、これは病人をつくるだけである。

一度「この風邪にはどんな意味と価値があるのか」と考えることが必要なのである。

西洋医学も代替医療も意味と価値を認めない点では同じである。すべてに意味と価値があるのだ。

これが分かれば生きている価値が見えてくる。

病気が存在しているのは必然性があるからである。

今我々（日本人）には哲学がない。幹、枝がなくて情報の葉っぱのみ。そういう教育が行われている。葉っぱだけ見ているは、病気の場合も問題は解決しない。

今日の話は枝と幹の話である。

病気は治そうとしても治せない。治るものは少し後押ししてあげれば治っていく。病気はその「意味と関係」を我々に伝えるために必然的に現れたものであり、その役割が終われば消えていくものなのだ。

善悪、浄穢、正邪、真偽……これらの対立する概念がこだわりを生じさせ、我々に苦の世界を体験させる。これが、私たちが味わっている常識の世界だ。常識的な人は分別のある人、立派な人とみなされるが、つねに何かと戦っている。

「これでいい」という答えが見いだせないまま、たえず葛藤して

いるだろう。

これに対し、無分別は時として解決できない問題をも解決に導く。この無分別こそ「不二」の世界にほかならない。不二は、今日のよくな出口の見えない暗闇の社会を新しい明るい社会に変えていくキーワードに違いない。

☆ ☆

ガン・病気など悪とみなされて  
いるものには意味と価値があると  
いう。我々はものの見方を根本か  
ら見直すことを求められているの  
かも知れない。

そこに達した時こそ病のない世  
界になるのであろう。

当日の参加者は会員14名、非会  
員23名、合計37名であった。

今回のカセットテープは200  
0円(送料込み)です。

事務局(0797・22・64  
25)までご連絡下さい。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)

### 第三百八十七回関西日本 サイ科学会研究集会報告

#### 靈感・霊能力について

講師 小林 信正氏

とき 平成26年4月19日

ところ 大阪科学技術センター

○小林信正のプロフィール

1938年2月、東京生まれ。  
東京写真大(現東京工芸大)卒業、  
慶応大では哲学、心理学専攻。T  
V局勤務、チーフプロデューサー、  
部長として多数の番組制作に携わ  
る。定年退社後、TV制作会社の  
代表取締役として放送番組や各種  
イベントを企画制作。大学や企業  
研修の講師などを務める。その傍  
ら特異能力研究所を主宰して意識  
とサイの研究を行う。日本サイ科  
学会理事。前(財)日本心霊科学  
協会常任理事。新著に神社仏閣50  
選「利益さま」がある。

◆ ◆  
靈感とは、霊的なモノを受動的  
に感じる、いわゆるインスピレー  
ションのことを指すのに対して、

霊能力は霊的なモノを自発的に感  
知し、その事柄は何であるかを解  
釈できる能力を言います。通常の  
人間では知りえない事柄を見たり、  
聴いたり、霊言したり、除霊、浄  
霊、心霊的治療能力を行使する者  
を総称して霊能者とか霊能力者と  
いいますが、霊能師、浄霊師とか  
チャネラーなどという呼び方もあ  
ります。



小林氏は1960年頃から、こ  
れらの霊的能力に興味を抱き、現  
在までに国内のみならず外国の霊  
感、霊能力者と称する人たち約3  
20人余りを取材してきました。

アンケート調査、霊視や除霊など  
の実験検証、さらには海外の能力

開発研究所や心霊治療の養成機関  
などの取材や霊能力者の脳内の「光  
トポグラフ」による血流活動の比  
較測定を試みてきました。これら  
の映像を試写しながら、霊能力者  
の実態と能力開発法及びそのメカ  
ニズム研究の一端をお話しして頂  
きました。

靈感・霊能力について

- I 灵感・霊能力・霊媒とは
- II インスピレーションテスト
- III 霊能力者列伝
- IV 心霊現象と心霊能力
- V 霊能力の発現について
- VI 霊能力開発法
- VII 霊能力のメカニズム
- VIII 霊能力者の資質
- IX 悪徳霊能力者の見分け方
- X 預言者のメッセージ

意識の主体は

「唯物論」 脳神経科学 脳意  
識を生み出す 心

「唯心的二元論」哲学、宗教、心  
霊 脳は魂が身体運動するため  
の媒介装置 靈魂↔不死↔輪廻  
転生

「普遍的唯心論」 量子力学の素  
粒子論 宇宙意識↔素粒子

靈魂とは

霊(れい、たま)は、すぐれて  
神妙なもの、神、こころ  
魂(こん、たましい)精神をつ  
かさどる精气

I 靈感・靈能・靈媒

天才と靈感

詩人・文学者／石川啄木、宮沢賢  
治、夏目漱石、土井晩翠、芥川龍  
之介、太宰治、川端康成、三島由  
紀夫、ゲーテ、トルストイ、コナ  
ンドイ

発明家／レオナルド・ダ・ヴィン  
チ、ニュートン

音楽家／モーツアルト、ベートー  
ベン、ブラームス、ショパン、  
チャイコフスキー、ヴィヴァルデ  
イ

画家／ゴッホ、ルノワール、セザ  
ンヌ、ミレー

学者／湯川秀樹、岡潔、デカルト、  
ベンゼン、ダーウイン、  
靈感／スエーデンボルグ

II インスピレーションテスト

靈能力者のタイプ

III 日本の靈能力者列伝

卑弥呼、役小角、空海、安倍清  
明、日蓮、祐天、中山みき、出口  
なお、出口王仁三郎、長南年恵、

御船千鶴子、長尾郁子、三田光一、  
亀井三郎、小谷喜美、

IV 心靈現象と心靈能力とは

靈能力

(1) 精神的心靈現象

靈能力、靈視、靈言、人体透視、  
心靈鑑定、降靈会

(2) 物理的的心灵現象

物品出現、物品引き寄せ、物質  
化霊、エクトプラズムとは、自動  
書記、死者の肖像画、自動描画、  
靈界の画家が描かせたという絵画、  
自動演奏イギリスの音楽靈媒師、  
オーブは靈魂？ オーブの変形？  
鏡視 臨死体験の研究者レイモン  
ド・ムーデイ博士が行った研究で  
実験では、かなりの確率で個人と  
再会したという。

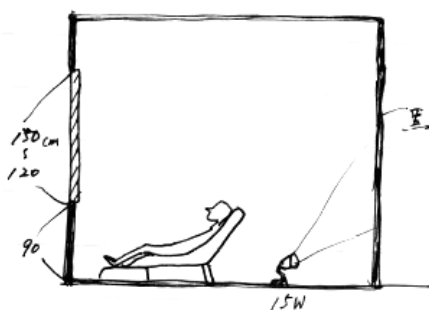


図1 鏡視状況

実験方法は六畳ほどの部屋に四  
方を暗幕で囲い、正面の壁に縦  
1・2 m×横1 mの鏡を設置し、

その鏡の前にリクライニング・チ  
ェアを用意、背後に15Wの電球  
を置く。そのチェアに横たわり故  
人の思い出などを思い浮かべなが  
ら鏡の奥を見つめる(図1参照)。

(3) 心靈治療

直接治療・遠隔治療、イギリス  
の心靈治療、ヒーリング  
憑依現象、除霊、浄霊、加持祈  
禱、ブラジルの心靈手術

世界的に注目される特異能力者  
ジョン オブ ゴッド

過去世療法、転生した勝五郎、  
ダライ・ラマ法王と転生

日本に馴染みの食文化 日本文  
化の源流

光との遭遇、体外離脱現象(O  
BE)、靈界テレビ映像

V 靈能力の発現について

(I) 先天的能力、(II) 後天的能  
力、(III) 自発的体得

宗教的修法・行法

VI 靈能力開発法

能力発現法 サイコサイバネテ

イクス、サジェストロロジー

サイコ・オリエントロロジー

応用科学として

イメージトレーニングメソッド  
応用編トレーニング

科学的方法論とは

VII 靈能力のメカニズム  
一般者と靈能力者の脳内比較

第3の目

A10 神経

VIII 靈能力者の資質

靈能相談の心得

靈能力者も得意不得意の分野も  
ある。

靈能者は当て物ではない  
靈格の高低レベルが重要

IX 悪徳靈能者の見分け方  
魂の向上を説き、感謝、謙虚、  
寛容、無償の愛ある人物

優れた心靈鑑定では  
因果の法則

「シルバーバーチの靈言集」の遺  
訓

「語りかける霊がいかなる高級  
霊であっても、その語る内容に反  
発を感じ霊性が納得しない時は、  
かまわず拒絶するがよろしい。

人間には自由意志が与えられて  
おり、自由な選択が許されていま  
す。」

X 地震予知について

(「ある超能力者によると、地震  
発生の予測の時期は、2015年

1月～4月頃、伊豆半島の南方のトラフ付近が震源地で、東海地方では大きな地震が起き、それが東南海地震へと連鎖を引き起こし、近畿、四国、九州の海岸など津波による甚大な被害が予想されること(図2参照)。



図2 地震予知

名言1  
考えかたが変われば行動が変わる  
行動が変われば習慣が変わる  
習慣が変われば性格が変わる  
性格が変われば人格が変わる  
人格が変われば人生が変わる

名言2

人生でどれだけのことを達成したかより、どれだけの人に役に立ったか、どれだけ多くの人に感動を与えたかが重要です。

あなたがどれだけ大きな夢を持っているかより、どれだけ笑顔が輝いているかが大切なのです。

☆

☆

サイ科学全般の問題について洋の東西の人物、種々の現象などについて詳しく説明して頂き、関連することの膨大さを改めて認識した。

そして、大事なことは自分自身よりも多くの人に役に立ち、感動を与えることだと教えられた。

鏡視についてレイモンド・ムーディ博士の実験では300名中約半数が死者と再会したという。

小林氏の心霊現象研究会での実験では28名中11名に人物らしきものとの再会があったとのことである(サイジャーナル2014.5.6 No.415 P16参照)。関西日本サイ科学会でも実験を検討中である  
地震について特に関西在住の者と

しては気になる予言であり、とにかく準備しておくことが大事である。

当日の参加者は会員18名、非会員26名、合計44名であった。

講演のカセットテープは2000円(送料込み)です。

事務局(0797・22・6425)までご連絡下さい。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)



### 本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。

価格 1本につき 三五〇〇円  
(送料含む)

以下日本のビデオ映像から、御注文願います。

◎2013年4月本部例会  
講師 大野百合子氏

「宇宙図書館(アカシツクレコード)から見た世界の仕組みと私たち—あなたは誰なのか—」

◎2013年5月本部例会  
講師 浪平博人氏

「イメージによる瞬間教育」  
◎2013年6月本部例会  
講師 松原秀樹氏

「アレギーを治す秘訣」  
◎2013年7月本部例会  
講師 酒向猛氏

「千鳥学説を知るために」  
◎2013年9月本部例会  
講師 奥野節子氏

「ブラジルの奇跡のヒーロー  
ジョン・オブ・ゴッド」  
◎2013年10月第23回全国大会  
シンポジウムテーマ

「サイと自然治癒力」  
◎2013年11月本部例会  
講師 小久保秀之氏

「生体センサによるサイ研究—超能力研究の最前線」  
◎2014年1月本部例会  
講師 小川博章氏

「魂の発見」  
◎2014年4月本部例会  
講師 西川真知子氏

「生命の智慧 アーユルヴェーダ

「アーユルヴェーダから見る生命のすばらしさ」

◎2014年5月本部例会

講師 岩根和郎氏

「般若心経とサイ科学」

◎2014年6月本部例会

講師 秦西平氏

「気超科学と宇宙生命哲学  
新病気学」

メールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス（またはFAX番号）に、「2010年〇月〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。  
2週間以内に発送致します。

E-mail office21@psi.mail-box.ne.jp  
FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便  
振替用紙で8日以内にお振り込み  
いただければ、結構です。



### 故 関英男先生のサイ関係 (+ $\alpha$ ) の主要な御著書 (在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法 (1990: 加速学園出版部) . . . . .	2,100 円	(300 円)
加速学習法 (1995: 加速学園出版部) . . . . .	2,550 円	(200 円)
サイ科学の全貌 (1991: 工作舎) . . . . .	1,995 円	(200 円)
グラビトニックス (2000: 加速学園出版部) . . . . .	1,000 円	(160 円)
念波 (1990: 加速学園出版部) . . . . .	800 円	(160 円)
CD: 生命と宇宙 [講演録 72 分] (1998: 船井メディア) . . . . .	3,000 円	(160 円)
電気磁気学 [加速教育用] (1983: 加速学園出版部) . . . . .	1,340 円	(160 円)
謎のオズマ計画 - UFO との関連 - (1976: USL) . . . . .	190 円	(80 円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD (1974: 英語版) . . . . .	1,000 円	(160 円)

※「深宇宙探訪記」は大幅に値下げしました。

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記 (上) (1991: 加速学園出版部) . . . . .	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (中) (1992: 加速学園出版部) . . . . .	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (下) (1992: 加速学園出版部) . . . . .	1,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: オスカー・マゴッチ氏の講演 (2h40m) . . . . .	3,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: ティモシー・ワイリー氏の講演 (2h45m) . . . . .	3,000 円	(200 円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記の E-mail、または FAX 宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から2週間以内に発送致します。

※1種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記のE-mailまたはFAX、電話で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

<お問い合わせ>

日本サイ科学会事務局 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506

TEL 047-347-3546 FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

コボコ状のオーブが写されている。つまり、「フラッシュ光禁止」、なのに、効果が継続して、オーブが写されている。しかも、それぞれのオーブは成長している様に見える(省略)。

以上は、見方を変えると、「スプレー水」噴射によりキリ(モヤ)が生じ、これが消える頃にオーブが発生し、次第に変化・成長する、この傾向は継続しているらしい、が記録されていると考えることが出来よう。

(B) カシオZ-2000(1610万画素数)を用いて上の(A)と同一の実験を行った。初めは「フラッシュ光有り」、「スプレー水無し」である。結果を見る。最初の3枚には、ニコンの場合と同様に、何も写らなかった(写真添付せず)。次の(一例としての)3枚中の2枚、No.0774とNo.0775は「スプレー水有り」「強制フラッシュ光有り」である。No.0774を見る。キリ(モヤ)の中に、混ざって、大小のオーブが写っている。No.0775には、それらが成長したと思える様な中、大径のオーブ(核、又は穴有り)が、全面に、写されている。最後は「スプレー水有り」、「強制フラッシュ光無し」である。一例としての3枚には、最初の3枚の場合と同様に、何も写っていない。つまり高画素数のカシオの場合には、「フラッシュ光無し」の場合には、「スプレー水有り」の条件でも写らない事が判った(省略)。

## 8. オーブのカオス解析

オーブ内部の平面的並びに立体的な濃度変化を調べている。一例としてNo.774とNo.775を見る(省略)。同一テスト条件で、約6~10秒後に写されているが、結果は別の値が得られた。フラクタル次元Dは、前者が2.42(4個の山)後者が2.38(1個の山)である。これらの実験結果には、素粒子の性質(非局所、ランダム等)が表れている考えられる。

## 9. 纏めと検討・考察

(1) オーブがすぐ傍まで来ても、高画素数カメラ(1610万画素数)では認知出来ない(写らない)場合がある。しかし低画素数カメラ(220万画素数)には写る傾向が有る。(2) 小雨の降りはじめやスプレー噴霧水があると、出現しやすい。水の蒸発はオーブの誘発になっていると考えられる。しかしオーブと水滴とは異なる。(3) 近赤外線燈の光ではなくて、カメラからインパクト的に放射される光により、オーブは出現してくる。これより、原子内電子の量子飛躍時の緩和エネルギー(近赤外線光)がオーブ形成に必要な、と判断できる。(4) オーブの円内の模様(表情)を知る為に、カオス解析(濃度分布)を試みた。結果には、素粒子の性質が色濃く表れていることが判った。



撮影された写真No.1883 (通常に得られる) を示す (省略)。オーブは円形であり、円の内側に沢山の点状の凹凸を含み、ハイロー (halo) の小さな、やや金属的な輝きを持つオーブ (たまゆら) が写っている。

#### 4. 小雨の降り始め

画素数が多いカメラは、オーブ (たまゆら) は写り難いが、詳細 (円内の表情等) が判断し易い傾向がある。つまり、小雨の影響を調べるのに便利なので、画素数の多いカシオ Z-2000 (1610万画素数) を用いた。測定は2014年5月15日 (木)、夜、小雨の降り始め、オーブが写りやすい福島市飯坂温泉駅付近の橋。最初に、6~10秒間隔で、毎回「フラッシュ光ON」で、5回テストした。一例としてのNo.0756を示す (省略)。橋の上に、乳白色発光状で中円径、円周外側にハイロー (halo) を伴い、円内部に表情を持つオーブが一個、他に、微小な点状の水滴群が写されている。No.0761は (橋の下に)、No.0756とほぼ同様のオーブと水滴が写っている (省略)。

次に「フラッシュ光OFF」で5回テストした。結果をみると、5枚とも、オーブは全く写っていない。画素数が多いカメラでは、小雨でフラッシュ光が無い場合には、全く写らない場合がある。

#### 5. スプレー噴霧 (キリ) 放射

「ハンド・スプレー」を用いて水 (キリ、噴霧) を放射すると、キリが消える頃に、オーブが写りやすい (共同研究者、川崎利男) ので、これをK式スプレー法と仮称して、実験を行う。実験結果は本稿の実験の様々の場面で記述してある。結論としてオーブ撮影には、ハンド・スプレーを用いて水 (キリ、噴霧) を放射する方法が良いと言える。

#### 6. 「近赤外線照射」の有無

オーブ (たまゆら) は近赤外線域にいますので、近赤外線ランプを照射して、その効果・意味を調べる。上記と同じ理由 (表情を調べ

る) から、カシオ・カメラ (1610万画素) を用いた。場所はオーブの出やすい福島市実験室西側空き地。上記と同様に、「晴れ」で「夜間」にテストを実施した。2014年5月1日 (木)、「フラッシュ光禁止」、「近赤外線照射」、「スプレー水有り」で4枚撮影した。4枚ともキリ (モヤ) が写っている。この一例をNo.0727に示す (省略)。図の左上にスプレーが写り、中央に「モヤ」がでている。オーブが出現しないので、念の為に、2014年5月5日 (月)、再度、同様に、4枚のテストを実施した。しかし4枚とも、「モヤ」は出ているが、オーブは写らなかった。単なる近赤外線照射では、オーブが出現しにくい事が判った。

#### 7. カメラの画素数の差異

カメラの画素数と「スプレー水効果」を調べた。オーブの出やすい福島市実験室西側空き地、2014年5月22日 (木)、晴れ、時間は19:40~20:30。

(A) ニコン E-2200 (220万画素数) を用いて、約6~10秒間隔で、一枚毎に「強制フラッシュ光」撮影を試みた。最初は「スプレー水無し」、で3枚撮影し、ひき続き「スプレー水有り」で3枚撮影。最後の3枚は「フラッシュ光禁止」、「スプレー水有り」である。結果をみると、最初の3枚 (スプレー水無し) はオーブらしいものは、何も写っていなかった (写真添付せず)。次の3枚は「スプレー水有り」であるが、これにはキリ (水滴) とオーブらしい混合画像が写っているが、全体としては、「ぼけ状写真」である。この一例をNo.1930、No.1932に示した (省略)。No.1930を見る。画面の右上にスプレーのボトルが映り、画面ぜんたいに乳白色の水滴粒が写されている。No.1032には、より小粒の水滴 (キリ状) とこれの集合体 (中粒) と思われる像が写っている。最後の3枚は「スプレー水有り」、「フラッシュ光禁止」、の場合である。この一例としてのNo.1934には、キリ (モヤ状) の中に大、中径のオーブが画面の右際半分に写されている。上部の2個のオーブは、乳白色発光状であり、また右上端には茶色でデ

# オーブ出現に及ぼすカメラと光と水滴の影響

佐々木 茂美 苗 鉄軍 川崎 利男

習熟した撮影者の意見として「オーブ撮影はカメラ、光、雨(キリ)に注意すべき」がある。しかし具体的にどの様に判断したら良いかは不明であった。そこで今回は、この問題等について初歩的・実験的な検討を試みることにした。

## 1. 実験内容(実験条件)

デジタル・カメラの画素数の多少(又はフィルターの有無)が、オーブ(たまゆら)像撮影の可否や画質に影響する事が推定されている。しかし確かめられてはいない。そこで、画素数の異なるカメラを用いて撮影する。画素数の少ないデジタル・カメラ、ニコンE-2200(220万画素数)では(カメラ側の)光と人工的な霧(キリ、水滴)の関係を調べる。画素数の多いカシオEX-Z-2000(1610万画素数)では、主として、光、小雨(水滴)、近赤外線燈の関係を調べる。つぎに、カメラの画素数と撮影され易さ、オーブ表情のカオス解析等を検討する。

撮影条件として、露出モードをオート撮影(P)に合せる。これは絞りとシャッターの組み合わせを、カメラが自動的に選定して撮影する方式である。撮影時間は、夜間の20:00~21:30の間。場所は、既知(オーブが出易い)の福島市実験室西側空き地、飯坂温泉の駅付近、別に未知(出現が未知)の上野寛永寺西側道路を選んだ。

オーブ(たまゆら)は近赤外線領域に潜っており、目には見えない(活性化エネルギー、約1.4eV)。また、小雨の降り始めに写り易い。そこで、「晴れ」で「近赤外線燈に通電した時」。並びに、「スプレー水放射時」も検討する事にした。なお、撮影に際しては、次の諸項目を組み合わせで実施した。

ストロボ光(フラッシュ光)禁止。さらに黒遮光布でカメラのフラッシュ光発射部を遮蔽した時。強制発光(フラッシュ光ON、色温度

約6000度K)。近赤外線電灯(TOKI赤外線家畜用電球100V-185W、約3300度K、IR100)照射の時。天候は晴れ、または小雨の降り始め。晴れでスプレー水(キリ、噴霧)を放射したとき。

## 2. 光をほぼ遮断する場合

### (1)「フラッシュ光禁止」

「晴れ」の夜間の写真撮影である。ニコンE-2200使用、「ストロボ光(フラッシュ光)禁止」なので、カメラ側からは光放出はない筈であるが、構造上、シャッターボタン半押しと全押し時に近赤外線が放出される。さらに、「シャッターON」時に僅かながらストロボ光(フラッシュ光)が放出されてしまう。一例として写真No.1910と写真No.1912を示す(省略)。これらの写真を見ると、背景が薄暗いのはっきりしないが、樹木の葉、建物の壁、屋根のみが写されている。その他は真黒でオーブは写っていない。

### (2)フラッシュ光除去(黒遮光布使用)

上の(1)と同一時間帯、同一カメラ、並びに同一場所で撮影した。「シャッターON(ボタン押し)」に伴う近赤外線照射は防ぎようが無いが黒遮光布を使用して、フラッシュ光を完全に除去している(カメラからは光は出していない)。この一例として写真No.1913と写真No.1915を示す(省略)。画面を見ると、今度は完全に真黒で、何も写っていない。

## 3. 「フラッシュ光有り」

オーブ像撮影時の通常の方法。つまり、暗い夜空に向けて、「フラッシュ光ON」で撮影する場合である。画素数と性能の異なる4台のカメラを用いて、場所と時間を様々に変えて撮影し、多数のオーブ(たまゆら)写真を得た。ここには、一例として、上の(1)と同一条件で

これまでこの(1)反応は $\gamma$ 線のような強いエネルギーでないと起こらないといわれてきたが近年は超音波処理その他でも容易に起こることが明らかになってきた。

古くから我が国には「病は気から」という言葉があるにもかかわらず気とかストレスというようなエネルギーについてはその存在をなかなか認めない風潮があった。天下のNHKが「気」とか「気功」のようなものを取り上げるようになったのは旧科学技術庁が「稲葉生物フォトンプロジェクト」(1986~1991)を実施して以降でありまだ日が浅いのである。

ところでここでは生体に関係するエネルギーを総称してサイエネルギーとしたが、具体的には気エネルギー、生命エネルギー、生体エネルギー、意識エネルギー、ストレスエネルギー等々でありこれらは同種のエネルギーなのかそれとも異種のエネルギーなのかあるいは幾つかに分類出来るものなのか大変興味深いものであるとともにこの辺を先ず明らかにすることが極めて重要と思われる。その理由は近年最新の検査機器を用いていくら検査しても原因が分からない病気や病的症状を訴える患者が増えていることである。新しいタイプの胸焼け、血尿、せき、血便等々いくら調べても現在の医学では病的原因が見つからないのである。そうすると第1に考えられることは精神的なものが原因しているのではないかということになってくる。

医学分野ではプラシーボ(偽薬)効果がダブルブラインドテストでも明確に有意差が認められているにもかかわらずどういう訳か一般化されていない。大変不思議なことである。これは薬の売れ行きに関わるためか……。

今から20年以上も前になるが(株)日立製作所にいた時日立研究所で日立返仁会(本当は変人会で日立グループの博士号取得者の会)が開催され佐々木茂美先生と清田益章青年に講演とスプーン曲げの実演をお願いしたことがあった。歴代の研究所長3人に最前列に並んでもらい、さらに一般の所員にも開放しての講演会だったため会場の講堂は人で溢れた。清田

青年は1時間の持ち時間が終わりに近付いてきてもなかなか実演に入ってくれなくひやひやした記憶が蘇る。これは場が場ただだけに実演するのに気分が乗ってくるまで時間を要したと言うことだと考えられる。その後の2回の実演は共に成功した。これはたまたま時間が許されたから成功したと言える。テレビなどでの実況・実演では当然時間的な制約があり時間内であるということになった場合、成功しない場合が十分にあり得ることである。

その後興味深かったのは事務局の一人が機関紙に載せた文章だった。当日は事務局で用意したスプーンで実演してもらったにもかかわらずスプーンを途中で取り換えたのではないかということだった。信じない人は何処までも信じないということ。このようなことに対する清田青年の反応は「それでいいのだ」ということだった(実演で折れたスプーンを研究所の材料の専門家が早速分析したとのことだった)。清田青年のスプーン曲げでありスプーン折りのようなサイ現象に対する世の中の認識・評価は20年以上も経過した現在でも当時とほとんど変わっていないと筆者には思われるのである。

このような人体が関わるサイ現象でありサイエネルギーの世界に入ってくると再現性というものが場や環境の影響を強く受けると言うこと。したがって現代科学でいう再現性の意味を広げるかあるいは再現性に対する考えを変えないと再現性がないとか得られないと言うことになってしまう可能性が多分にある。そのためサイエネルギーが関わる研究結果は正当に評価され難くなりまたなかなか信じて貰えない結果になったりする。このことはサイ科学の前進のためばかりではなく科学技術立国を目指す我が国の将来のために極めて残念かつ勿体ないことである。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

## 科学と再現性 そしてサイエネルギー

久保田 昌治

我が国には再現性のないもの、あるいは再現性の悪いものは科学 (Science) のテーブルに上らないとか科学の研究対象にならないということ平気でいう学者や研究者が珍しくない。確かに科学的な研究を進める上で再現性が重要であることは間違いない。しかしこの考えは正しいだろうか？ 筆者は再現性がないとか悪いからこそ科学の研究対象になるのだと考える。十分な再現性が得られればそれはもう技術 (Technology) のフェイズに移ったと考える。

今を時めくLSIの元のトランジスターはたまたま出来たものであり当初は極めて再現性が悪かった。初期のLSIの量産化も歩留まりが10%前後で実用化に進んだ。技術においては再現性は極めて重要である。再現性の悪いものは実用化は無理である。成田を飛び立った飛行機は毎回予定通りに目的地に無事到着してくれなくては困るのである。飛び立つたびに落ちていたのでは怖くて乗れないのである。

ところでサイ科学の分野は再現性がないとか悪いとか得難いという特性を本質的に持つ分野である。そのため現代科学のテーブルに極めて乗り難い面が強いのである。その結果サイ科学の成果がなかなか実社会に受け入れて貰い難く、役立てて貰えないだけでなく時にはせせら笑われたりすることがあるのである。これは現代科学で言う再現性の問題と密接な関係があるのではないかとと思われる。

我が国で再現性のないものは科学のテーブルに乗らないというような考えが常識化してしまった原因を探っていくと第二次世界大戦後の我が国の置かれた状態に辿り着く。戦後我が国が米国を中心に外国から輸入した技術、すなわち Technology を我が国では科学技術と翻訳した。戦後我が国が外国から輸入した各種技術は紛れもなく Technology であった。それを科学技術と翻訳してしまったために再現性のないものは科学のテーブルに乗らないというようなことになってしまったのではないかと推測する。いずれにせよ再現性のないものは科学のテーブルに乗らないとか科学の研究対象にならないという考えはサイ科学分野を中心に現在大きな弊害をもたらしていると考えざるを得ないのである。

最近病気の90%は活性酸素が原因していると言われている。そしてストレスが活性酸素の発生源になっているということが盛んに言われている。しかしどうしてストレスが活性酸素の発生源になるのかそのメカニズムについての説明を聞いたことがない。何故なのか不思議に思ってきた。筆者は体内の水がストレスエネルギーにより次の(1)反応が起こり活性酸素のヒドロキシルラジカル ( $\cdot\text{OH}$ ) が生成するのではないかと考えている。

